

総論：エディトリアルに代えて

六合温泉医療センター センター長
介護老人保健施設市川ゆうゆう 管理者 折茂賢一郎

はじめに

6年に1回、診療報酬と介護報酬の同時改定が回ってくる。その概要が平成30年1月に発表された。診療報酬は+0.55%、介護報酬は+0.54%の改定率だった。その多寡にはここでは触れないが、まずは今回の同時改定の概要について図1, 2をご覧ください。

両者ともに4つの柱を掲げている。医療と介護という文言こそ異なるが、柱となる表題はほぼ同じになっている。まず地域包括ケアシステ

ムを構築すること、そしてそのために医療と介護は何を行うべきかがまとめられている。2つ目は質の高い医療サービスや介護サービスをどのように目指していくのかである。そして3つ目は、人材確保困難な昨今の状況を打開するために、働き方改革やロボット・AIなどの技術導入などにより生産性の向上をいかにして高めていくのかということになる。最後の柱は、適正化や効率化という医療や介護制度の持続可能性と安定性の問題になる。この4つの柱を実現するために今回の同時改定が行われたのである。

I 地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進

医科

1. 医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価
2. 外来医療の機能分化、かかりつけ医の機能の評価
3. 入退院支援の推進
4. 質の高い在宅医療・訪問看護の確保
5. 医療と介護の連携の推進

歯科

1. かかりつけ歯科医の機能の評価
2. 周術期等の口腔機能管理の推進
3. 質の高い在宅医療の確保

調剤

1. 地域医療に貢献する薬局の評価

II 新しいニーズにも対応でき、安心・安全で納得できる質の高い医療の実現・充実

医科

1. 重点的な対応が求められる医療分野の充実
 - 1) 小児医療、周産期医療、救急医療の充実
 - 2) 緩和ケアを含む質の高いがん医療等の評価
 - 3) 認知症の者に対する適切な医療の評価
 - 4) 地域移行・地域生活支援の充実を含む質の高い精神医療の評価
 - 5) 感染症対策や薬剤耐性対策、医療安全対策の推進
 - 6) 適切な腎代替療法の推進
2. 先進的な医療技術の適切な評価と着実な導入
 - 1) 遠隔診療の評価
 - 2) 手術等医療技術の適切な評価

歯科

1. 口腔疾患の重症化予防、口腔機能低下への対応、生活の質に配慮した歯科医療の推進

調剤

1. 薬局における対人業務の評価の充実

III 医療従事者の負担軽減、働き方改革の推進

1. チーム医療等の推進(業務の共同化、移管等)等の勤務環境の改善
2. 業務の効率化・合理化

IV 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の強化

1. 薬価制度の抜本改革の推進
2. 費用対効果の評価
3. 調剤報酬(いわゆる門前薬局等の評価)の見直し

図1 平成30年度診療報酬改定の概要